



『阿倍野で学ぶ月曜講座』 2025年 4～6月 6回講座

『忌日より辿る逆説 大阪文学』



高橋俊郎 (織田草之助)

1953年京都府生まれ。大学では哲学を専攻し、インドに半年暮らす。大阪市に図書館司書として入庁し、中央図書館副館長で定年退職。同志社女子大学などで嘱託講師をつとめ、本年3月で定年退職。現在、大阪文学振興会事務局長をつとめ、織田作之助賞など大阪文学の振興にたずさわる。他に、オダサク倶楽部共同代表、帝塚山派文学学会副代表、蓄音機コンサート「大阪文学音聴断」主宰。

文学忌とは、物故した作家の命日に、その遺族やゆかりのある人達やファンがその文学的業績を偲ぶ日である。

起源は江戸時代の催事記にさかのぼり、京の年中行事の解説書「日次記事」(1685年)に、松尾芭蕉の死(元禄7年10月12日)によってその忌日である「芭蕉忌」が記載されている。

今回の講座では、時代を超えて読み継がれる大阪ゆかりの文豪達の中でも、大阪で忌日の記念会が行われている作家を取り上げ、その人生を忌日から逆に辿(たどり)ります。また、最終講座ではそれらの作家が愛した音楽を当時の蓄音機で鑑賞していただきます。(森岡)

- 第1回 4/14 「1月10日 善哉忌」 織田作之助
- 第2回 4/28 「2月12日 菜の花忌」 司馬遼太郎
- 第3回 5/12 「3月24日 檸檬忌」 梶井基次郎
- 第4回 5/26 「9月29日 豊子忌」 山崎豊子
- 第5回 6/ 9 「12月9日 悠々忌」 開高健
- 第6回 6/23 「音楽で辿る大阪文学 近代文学は蓄音機で」

講義日程：上記 各月曜日 午前10時～12時

会場：あべのベルタ3階 大阪市立阿倍野市民学習センター 講堂

募集人員：100名 募集期間：2024年12月23日(月)～2025年2月28日(金)

申込多数の場合は、抽選により受講者を決定いたします。

抽選結果は、3月7日頃、お申込の皆様全員に郵送にてお知らせします。

受講料：全6回 8,000円

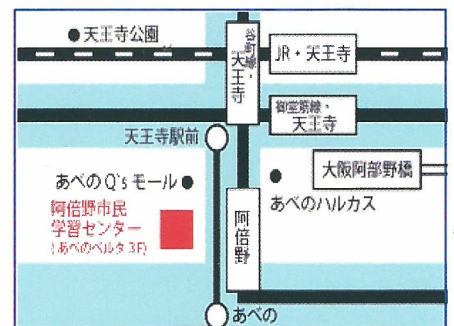
(受講料お支払方法は「受講ご決定通知書」で案内いたします)

応募方法：お葉書にお名前、ご住所、お電話番号をご記入

〒545-0052 阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300

大阪市立阿倍野市民学習センター「阿倍野で学ぶ月曜講座」係

お問い合わせ：银杏生涯学習会・担当 森岡(080-3000-1706)まで



主催：银杏生涯学習会 共催：大阪市立阿倍野市民学習センター

個人情報の取り扱いについて

■事業者：一般財団法人大阪教育文化振興財団

Tel：06-4963-2527 (月～金10:00～17:00)

■ご記入いただきました個人情報は、講座ご参加の確認や、講座に関するご連絡のためにのみ使用し、お申込みをもって、同意されたものとさせていただきます。

■個人情報の取扱い、苦情及びご相談に関するお問い合わせ先：一般財団法人大阪教育文化振興財団 個人情報保護管理者 総務課長 宛

「大阪市域」に「暴風警報」または「特別警報」が午前7時の時点で発令されている場合、もしくは地震等で大阪環状線とOsaka Metroの双方が運行を停止した場合、講座は中止とさせていただきます。詳しくはセンターまでお問い合わせください。